

## 厚沢部町地域公共交通計画の施策の実施について

## 1. 施策の進捗状況

施策①：広域幹線（地域内幹線）である函館・江差線の有効活用

⇒「A. 一体的な路線図・時刻表」の配布により、活用を促進。

「B. サイクル&バスライド」向けの駐輪スペース整備により、安心して自転車を駐輪してバス利用できる環境にする。

施策②：広域幹線（地域内幹線）を補完する江差高校通学向けの乗合バス（区域運行）

⇒「あっさぶ江差高校バス」として実施済み。

施策③：ラストマイル対策としての「外出支援サービス」

⇒旧館線・稲見線沿線住民に、従来の外出支援サービスを「交通空白地有償運送」とすることで利用可能となった。

施策④：厚沢部町国保病院通院向けの「移送サービス」

⇒従来の通院向け移送サービスを継続。

施策⑤：地域公共交通を利用する高校生向けの補助制度

⇒従来の函館バス利用向けのほか、「あっさぶ江差高校バス」も補助可能とした。

施策⑥：免許返納推進および移動支援サービス活用に向けた地域一体の取組み

⇒免許返納に関しては、過去に江差警察署に免許返納者へ外出支援等のチラシ配布の協力を依頼しており、今後も適宜実施を予定。

また、現状、免許返納を考えている高齢者本人や家族、民生委員から地域包括支援センターに相談があった場合には、適宜対応し免許返納及び移動支援サービスの利用を促している。

施策⑦：地域公共交通利用喚起キャンペーン

⇒施策①と同様に実施。

施策⑧：地域公共交通の乗り方講座の開催

⇒「C. バスの乗り方教室」を検討中

施策⑨：地域公共交通に関する庁内外の体制強化

⇒「あっさぶ江差高校バス」が初年度運行終了した段階で検討。

## 2. 具体的に検討中の事項

### A. 一体的な路線図・時刻表

資料No.2-2素案のとおり、①函館バス、②あっさぶ江差高校バス、③交通空白地有償運送ほか移動支援サービスの情報をまとめて掲載したものを作成し、住民等に配布する。サイクル&バスライド実施の場合には、同内容も記載する。

### B. サイクル&バスライド

候補地…厚沢部バス停：商工会

レクの森：町有地等要確認

鶉農協前：ハマナスクラブうずら店

※懸念点があるようであれば、まずは期間限定で開始する。仮に予想以上の利用がある場合には、利用者専用シールを貼付することをルールとして事前登録制にするなど検討。

### C. バスの乗り方教室

次年度厚沢部中学校にて開催を検討中。開催時には、「一体的な路線図・時刻表」を生徒等に配布し、家族でも話題となるよう促す。